

## (ママやパパたちへ) 4月と5月の育ちのころ『ね』付きの子育てを」

本当なら、新しい気持ちに胸をふくらませて、希望もあたりに歩み始めているはずでしたね。

新型コロナウイルス感染によって、子ども達やママ・パパたちの生活も一変してしまいました。

4月の始まりの頃は「5月になったら」で頑張れたけど、5月になって「6月になったら」とはそうは簡単に気持ちは切り替えられません。本当に困ったものです。

でも、逆に言うと、「こんな時だからこそ、しっかり考えよう」で臨みたいですね。

新型コロナウイルスは、私たちに何をもたらしたでしょうか。

世界中で多くの人たちが感染し、目に見えないウイルスにおびえています。そして、多くの尊いいのちが失われました。

医療従事者の方々は感染者を助ける最前線にたって、自らの感染のリスクを抱えながら治療にあたっておられます。多くの医療従事者も感染し、お亡くなりになりました。

マスクもなくなりました。店頭からマスクは消え、思わぬところで何倍もの値段で売られています。

世界経済への影響も深刻です。やがて流行はおさまることでしょうが、むしろ、経済的にはその後のほうが大きな課題です。私たちの暮らしも、そこでは関連してきます。

そんな中で、私が一番問題に感じていることは、「新型コロナは、人と人を分断する」ことです。

アメリカのトランプさんを見て感じるのは、「アメリカ・ファーストとは、アメリカさえよければいいということ」です。だから、今は「ウイルスを発生させたのは中国だ。中国がけしからん」と口に泡を飛ばして非難ばかりです。

世界中が苦しみ、特に貧しい国こそ深刻なのに、相変わらずの自国主義。

こんなに悲しいことはありません。脱・「自分ファースト(自分がよければいい)」が今こそ必要です。

そのために、「ね」をつけた会話をしてみましよう。会話の最後に「ね」をつけて話します。

ご飯を食べる時には、「おいしいね」。ご飯を食べ終わった時には、「おいしかったね」。「お風呂、気持ちいいね」「眠いね」「眠ろうね」、何にでも、無理やりにでも、「ね」をつけてみてください。

「たのしいね」「うれしいね」「かなしいね」「泣きたいね」と、ぜひ『ね』付きの子育てをしてみてください。

きっと親子の会話がスムーズになるし、親子の関係があつたかくなります。

「ね」は、「こころをつなぐ魔法のことば」です。

そして、親子から始まって、私たち同士が「ね」でつながれていくときに、「コロナは私たちを分断する」に勝てるのです。

2020年度、この「ね」を大切にしましょう。そう、今年のテーマソングも、「ね」です。

(園長 飯塚拓也)